

IGL SPORTS TRAINER PRESS Vol.2

卒業生インタビュー —スポーツトレーナーへの道—

PROFILE

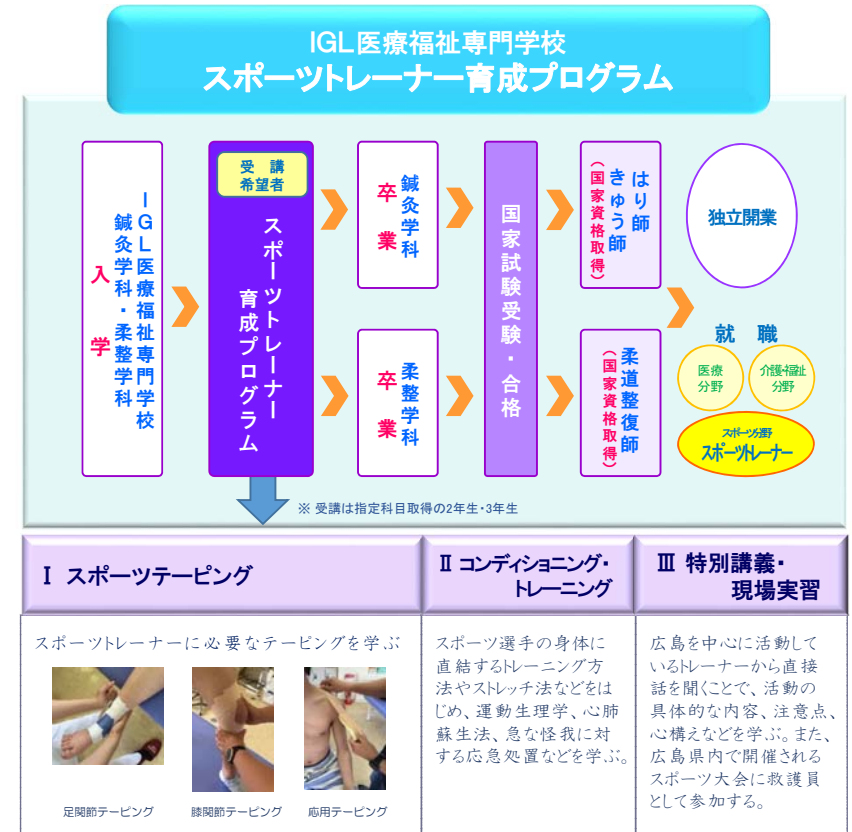
田中 優樹 さん

IGL医療専門学校（現IGL医療福祉専門学校）
鍼灸学科10期生 鍼灸師
Mac's Trainer Room 所属

大学卒業後の2010年にIGL医療専門学校鍼灸学科に入学。卒業後 Mac's Trainer Room のスタッフとして働かたわら、複数のチームのコンディショニングを担当。特に小中学生のコンディショニングに力を注ぎ、怪我をしない体作りを徹底指導している。来年から、トレーナー活動拠点を故郷の和歌山に移動する予定。

スポーツトレーナーを目指す方へ !!

IGL医療福祉専門学校では鍼灸学科・柔整学科の学生対象にスポーツトレーナー育成プログラムを開講しています



IGL 医療福祉専門学校

介護福祉学科（2年制/学科定員 男女80名） 鍼灸学科（3年制/学科定員 男女30名）
柔整学科（3年制/学科定員 男女30名） 口腔保健学科（3年制/学科定員 女子50名）

〒731-3164 広島市安佐南区伴東1丁目12-18 TEL (082)849-5001 / FAX (082)849-5115
http://www.igl.ac.jp/ E-mail:igl-iryofuku-info@igl.or.jp

これからの若い選手の未来にしっかりと 希望を持たせられるようなトレーナーになりたい

スポーツトレーナーの魅力について

IGL医療福祉専門学校

鍼灸学科 卒業生の

田中優樹さんにお話を伺いました

簡単に自己紹介をお願いします。

田中優樹と申します。今年で29才になりました。IGL医療専門学校十期生です。現在はマックストレーナールームのスタッフの一員として、トレーナー活動を行っています。主に野球選手のコンディショニングが多いです。

トレーナーになろうと思ったきっかけは何だったのですか？

私も小学校の時から野球をしていました。当然プロ野球選手になることが夢でしたよ(笑)しかし、高校時代に肘を故障し、思うようなプレーができなくなっていました。でも野球が大好きだったので、大学でも野球部に所属し、選手

コンディショニングを重視するのはなぜですか？

私のように早い段階で故障をして、将来の夢に向かって進むことができなくなる経験をさせたくないからです。ケガが原因で自分の持っている能力を引き出すことができないのはとても残念ですよ。

田中トレーナー自身、将来の夢はありますか？

はい、ありますよ。私自身和歌山県出



現在は、広島県内外の高校野球クラブのチームトレーナーとして活動中。リハビリのほか、日々のトレーニングから食事、コンディショニング調整などトータルで指導を行っている。

「地元和歌山での活動に向けて日々頑張っています」

たちのサポートをする立場に立っていました。そして、大学卒業を前に今後のことを考えると、自分がこれからトレーナー活動をするにあたって国家資格が必要だと感じました。

それで、大学卒業と同時にIGL医療専門学校(現IGL医療福祉専門学校)に入学されたのですか？

はい。鍼灸学科に入学したのは野球のトレーナーで圧倒的に鍼灸師が多かった



鍼灸学科授業風景「吸玉の授業」

身です。故郷に帰ってトレーナー活動をしたいと考えてます。和歌山でプレーしている選手の怪我をもっともっと少なくして、最終的にはゼロにしたいですね(笑)

ケガがなければ選手も最高のパフォーマンスが出せると思います。和歌山から多くの選手をプロに輩出したいです。しかし、広島も十分といえないのですが、広島以上に、まだまだ和歌山ではトレーナーが活躍できそうな地盤はできていません。指導者の理解も必要ですし、

からです。鍼灸は東洋医学ですが、解剖学や生理学など、西洋医学も当然のように学びます。学生生活は大変でした(笑)覚えることが多かったので仕事と勉強を両立して頑張りましたよ。この学校で人間の体についてたくさん知識を学びました。

現在どのような活動をされていますか？

トレーナーの仕事は、基本的にどこかのチームに所属してシーズン中はずっとチームに帯同する形が多いと思います。しかし私はマックストレーナールームに所属していますが、基本フリーランスで選手個人あるいはチーム全体のコンディショニング指導を行ったり、指導者に対しての講義を行ったりしています。年代は小学生から社会人まで幅広いです。プロの野球選手の自主トレに参加させてもらったりもしていますが、特に若い世代のコンディショニングに関しては力を注いでいますね。



ドクターをはじめ様々な専門家の協力も必要です。まずはそこから始めないといけないので、時間を見つけて和歌山に帰り、ネットワークを広げているところです。

最後にトレーナーを目指している皆さんにアドバイスをお願いします。

先ほどもいいましたが、日本は他の国と違ってまだまだトレーナーが活躍できる地盤は整っていません。しかし、もうすぐ東京オリンピックがあります。トレーナーもどんどん注目されるはずですよ。皆さんと一緒にこの業界を盛り上げていきたいらと思います。共に頑張ってくださいませ！